

(様式1)

## 令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 神久呂小 ) 学校運営協議会長

### ＜本年度の目標＞

- 創立150周年の節目が過ぎ、新しくスタートする意気込みで、特色ある学校づくりを推進してほしい。
- ① 学校側からの要望を受け、地域の多くの人にボランティア内容を周知し、参加していただけるように促していく。
- ② 地域と学校が連携し、キャリア教育の視点を大切にした特色ある学校づくりを行い、その活動内容を地域に広めていく。
- ③ 保護者向けアンケートの実施やコミスクだよりと学校だよりに学習支援活動の記事を充実させ、地域の方にコミスクの知名度を上げる工夫を協議会で考えたい。

### ＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 熟議することができた
  - ・ 学校運営基本方針について、グランドデザイン（構想図）及び学校経営の重点について資料を提示し具体的な手立てを含め説明があり、理解し共有することができた。
  - ・ 「いじめ防止基本方針」については、いじめ防止のための組織、取組、地域との連携、いじめ発生時の対処等のきめ細やかな計画が示され、理解が深まった。
  - ・ 子供たちの未来に今どうあることが最善なのか意見を交わすことが大事であることを認識・共有できた。
  - ・ 授業参観や子供たちの様子を見ながら感じたことを率直に述べるすることができた。

### ＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 熟議することができた
  - ・ 子供たちの活動の様子や表情を見て、どの学級も明るくのびのびとしている様子を見ることができた。委員からは気持ちや感じたことなど、毎回好感のもてる感想や意見が出された。
  - ・ 保護者や地域の皆さんの支援の協力で、多くの人が集まっていてコミュニティ・スクールの認知度が上がってきていると感じた。
  - ・ 学校支援活動について、その年にできる精一杯で分担し、現状を踏まえて次に生かす方向にしっかり進んでいる。

### ＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 十分発信することができた
  - ・ 家庭、地域への発信がなされている。学校の様子や子供たちの活動の様子が分かった。
  - ・ 学校だよりや学年だよりでのコミュニティ・スクールの活動情報が増加したと感じた。

### ＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 学校と共にウエルビーイングを考えた学校づくりを推進していく。
- ① 学習支援ボランティアや地域ボランティアの人材バンクを構築したい。
- ② 学習支援ボランティアや地域ボランティアとのかかわりを通して、住んでいる地区について知り、愛する子供を育てたい。
- ③ コミュニティ・スクールに関するアンケートを参考に、学習支援活動について見直しをしていく。